

2026年度

神学研究科博士課程（前期課程）
「論文」提出要領

1. 修士論文作成のスケジュール

主指導教員の演習科目を2年間に亘って登録履修し、研究の進捗状況を定期的に報告して適宜、指導を受けること。演習科目においては各自の研究について発表し合い、研究テーマの学問的意義/方法論の適切性/資料の有用性/主要な先行研究の読解/論文本体の論理性/結論の妥当性などに関して討論を重ねていること。

※主指導教員との相談の結果、コースを変更する必要があるが生じた場合、新旧両主指導教員の許可を得たうえで、遅くとも論文提出の半年前までに神学部・神学研究科事務室(1階)に届け出ること。

※指導教員を変更する必要がある生じた場合は、「指導教員・副指導教員 変更届」を神学部・神学研究科事務室(1階)へ論文提出の半年前までに提出してください。変更届は神学部・神学研究科事務室で配付しています。

※修士論文は、原則として日本語で作成しなければなりません。が、指導教員 3 名が英語での修士論文提出に同意している場合は認められることがありますので、まずは指導教員と相談してください。英語で論文を書く場合は「英語での修士論文提出許可申請書」を神学部・神学研究科事務室(1階)へ論文提出の 1 年前までに提出してください。申請書は神学部・神学研究科事務室で配付しています。

以上、3つの申請はいずれも研究科委員会の承認を経て手続完了となります。

【標準研究日程】

年次	学期	内 容	2026年度日程
1	春	主指導教員の演習科目を登録 (各自の研究テーマに関連した教員を1名選び、主指導教員への就任を依頼)	4月
		「想定題 申請書」兼「指導教員・副指導教員 申請書」を提出 (主指導教員と相談のうえで修士論文想定題と副指導教員2名を決定し、副指導教員2名から承認を得ること)	4月24日(金)迄
	秋	今年度の研究の進捗状況を主指導教員と確認し、来年度の研究計画などについて指導を受ける	3月
2	春	主指導教員の演習科目を登録 「論文」を登録 ※登録要領を要確認	4月
		修士論文のアウトラインを作成して主指導教員と副指導教員に提示 (添付ファイルでの送付可) ※アウトラインには「問題設定／方法論と資料／主要な先行研究／章立てと各章の概要／予想される結論」を記入	7月9日(木)迄
		修士論文中間報告会の申込と発表題の提出締切	7月9日(木)迄
	秋	修士論文中間報告会の報告書の提出締切	9月17日(木)迄
		修士論文中間報告会(詳細は後日、掲示・DUET等で周知)	9月25日(金)
		修士論文の第一稿を作成して主指導教員と副指導教員に提示し(添付ファイルでの送付可)、指導を受ける	11月20日(金)迄
		指導に従い第一稿を修正 論文提出までに「修士論文の全文データ(提出稿)」を主指導教員へ送付	11月～12月
		修士論文想定題変更届 提出締切 修士論文提出締切	12月10日(木)迄
		修士修了総合試験	1月23日(土)
		修士論文(最終確定稿)3部、本文および梗概のMS-Word文書ファイル、製本代の納入締切	1月28日(木)迄

【3年次生以上（2年の在学期間が必要）で、春学期に修士論文を提出する場合】

年次	学期	内容	2026年度日程
2	秋	今年度の研究の進捗状況を主指導教員と確認し、来年度の研究計画などについて指導を受ける	3月
3～	春	主指導教員の演習科目を登録 「論文」を登録 ※登録要領を要確認	4月
		修士論文のアウトラインを作成して主指導教員と副指導教員に提示 (添付ファイルでの送付可) ※アウトラインには「問題設定／方法論と資料／主要な先行研究／章立てと各章の概要／予想される結論」を記入	4月9日(木)迄
		修士論文の第一稿を作成して主指導教員と副指導教員に提示し(添付ファイルでの送付可)、指導を受ける	5月7日(木)迄
		指導に従い第一稿を修正 論文提出までに「修士論文の全文データ(提出稿)」を主指導教員へ送付	6月
		修士論文想定題変更届 提出締切 修士論文提出締切	6月11日(木)迄
		修士修了総合試験	7月14日(火)
		修士論文(最終確定稿)3部、本文および梗概のMS-Word文書ファイル、製本代の納入締切	7月28日(火)迄

※秋学期に提出する場合は【標準研究日程】を参照すること。

▼以下のフォームは神学部・神学研究科ホームページに掲載しています。

- ・「想定題 申請書」兼「指導教員・副指導教員 申請書」
- ・「論文」想定題 変更届
- ・『修士論文』提出チェック表

2. 修士論文提出要領

① 提出締切

12月10日（木） 17時（時間厳守）

6月11日（木） 17時（時間厳守）（春学期末修了の場合）

※17時の時点で完成していないもの、不備があるものは一切受け付けません。
時間に余裕を持って提出してください。

② 提出先 神学部・神学研究科事務室（1階）

③ 提出すべきものとその部数 ※提出時には学生証を持参してください

・論文／論文梗概／写真（ﾀｲﾍﾞﾙ 60mm×ｺｺ 50mm） 各3部

上記3点を論文の綴じ方（後項）を参考に1冊に綴じたものを合計3部作成し、提出すること。

・「修士論文」提出チェック表（署名のあるもの） 1部

④ 特定の課題について研究の成果をもって修士論文にかえる場合は、主指導教員と大学院教務主任に相談すること。 なお、上記の①～③は「特定の課題についての研究」についても適用されます。

⑤ 論文タイトルは想定タイトルと一致していること（変更する場合は所定の手続をすること）。

⑥ 用紙・枚数と装丁

（1）パソコンで作成し、A4判の白色上質紙に横書きで片面印刷とする。

字数：論文本文及び論文梗概は1ページあたり40字×30行で、本文は20～33ページ以内（目次、注、参考文献、付表、図、グラフは枚数に含めない）、論文梗概は1～3ページとする。

英語で作成する場合、論文本文及び論文梗概は1ページあたり25行で、本文は13,200～22,000words目安（目次、注、参考文献、付表、図、グラフは文字数に含めない）、論文梗概は2,000words目安とする。

フォント：MS明朝、日本語文中の外国語表記についてはCenturyまたはTimesNewRomanを使用し、フォントサイズは10.5とする。

英語で作成する場合、CenturyまたはTimesNewRomanを使用し、フォントサイズは12とする。

※注および参考文献、付表、図、グラフは巻末にまとめること。

※ページ数は本文から付けること。

（2）論文はレバーファイルで仮綴じする。梗概は本文の前に綴じ、論文のファイル表紙と梗概表紙、および中表紙（論文表紙）には、それぞれ論文タイトル・所属・入学年度・学籍番号・氏名を記載し、写真は中表紙の次頁の中央に貼付すること。後項の「論文の綴じ方」参照

（3）装丁見本は、神学部・神学研究科事務室（1階）にあります。必ず参考にしてください。

なお、レバーファイルは生協で販売しています。

3. 修士修了総合試験

- ① 修士修了総合試験の個別の試験時間については提出締切日以降にお知らせします。
- ② 当日は、論文やメモ、聖書など持ち込み可です。
- ③ 修士修了総合試験終了後に、以下のもの(詳細は総合試験当日お知らせ)を神学部・神学研究科事務室(1階)へ提出及び申請すること。なお、提出した修士論文3部のうち2部は製本(1部は論文提出者へお渡し、1部は神学部図書室に配架)し、残りの1部は製本せず神学研究科にて保管します。

◆提出物

- ・修正済み製本用修士論文3部・・・修士修了総合試験で指摘のあった部分を訂正し、
主指導教員の提出許可を得た上で穴を開けていない状態の完全版を提出
- ・修士論文本文および梗概のデータ・・・MS-Word形式のデータ提出(メールにて提出)

◆申請

- ・修士論文製本代納入・・・証明書発行システムにて製本代6,600円を納入

※総合試験日当日に提出する場合は、事務室での受付は試験の時間帯のみ可能。

表紙サンプル

修士論文
マタイによる福音書第1章について —〇〇の解釈から—
同志社大学大学院 神学研究科 博士課程(前期課程) 神学専攻 聖書神学研究コース 2025年度150番※ 京都 太郎

MS 明朝 フォント 16

※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)・学籍番号(XX番)の形式で記入

例) 2025年度150番

■論文の綴じ方

レバーファイル表紙

修士論文

○○○○○○○○○
(論文標題)

同志社大学大学院 神学研究科
博士課程(前期課程) 神学専攻
○○○○研究コース
入学年度 学籍番号
氏 名

①梗概表紙・・・1枚目

修士論文梗概

○○○○○○○○○
(論文標題)

同志社大学大学院 神学研究科
博士課程(前期課程) 神学専攻
○○○○研究コース
入学年度 学籍番号
氏 名

②梗概・・・2枚目

(梗概)

40字×30行、1～3ページ
MS明朝・日本語文中の外国語表記は
CenturyまたはTimesNewRoman
フォントサイズ 10.5

(英語で作成する場合)
1ページあたり25行
2,000words目安
CenturyまたはTimesNewRoman
フォントサイズ 12

※学生IDではなく、入学年度(20XX年度)・学籍番号(XX番)の形式で記入 例) 2025年度 150番

③中表紙・・・3枚目

修士論文

○○○○○○○○○
(論文標題)

同志社大学大学院 神学研究科
博士課程(前期課程) 神学専攻
○○○○研究コース
入学年度 学籍番号
氏 名

④写真・・・4枚目

写真:
タテ60mm×ヨコ50mm

写 真

- ・正面、上半身、脱帽、無背景
- ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
- ・カラー、白黒を問わない

⑤目次・・・5枚目

目 次

.....

.....

.....

*梗概が2枚以上の場合は梗概の次の枚数。以下同じ

⑥本文・・・6枚目～

(本 文)

40字×30行、20～33ページ
MS明朝・日本語文中の外国語表記は
CenturyまたはTimesNewRoman
フォントサイズ 10.5

(英語で作成する場合)
1ページあたり25行
13,200～22,000words目安
CenturyまたはTimesNewRoman
フォントサイズ 12

- ・目次、注、参考文献、付表図、グラフは、枚数・文字数に含めない
- ・ここからページ数を付ける

—1—

巻末

注および参考文献、付表、
図、グラフは巻末にまとめる
こと。

レバーファイル裏表紙

(裏表紙)

2026年度 修士論文中間報告会の開催について

以下の通り 2026 年度修士論文中間報告会を開催します。

発表者以外の方も是非ご覧ください。

- 日 時 : 2026 年 9 月 25 日 (金)
- 場 所 : 神学館 G 地下 1 教室 (公開で行います)
- 発表者 : 2027 年 3 月修了を希望する者
- 発表時間 : 1 人 15 分以内 (口頭発表 10 分、質疑応答 5 分)

※パワーポイントを使用して発表いただくことも可能です。

<発表者は必ず確認してください> 提出要領 参照

1. 修士論文中間報告会の申込について (全員必須)

「論文」登録者は Forms より申込手続きを行ってください。申込時には当日の発表題も明記すること。

※主指導教員と十分に相談のうえ、手続きを行ってください。

▼申込の Forms については 6 月頃に改めてご案内します。

★授業期間外の開催となるため、基本的には時間帯に関する申し出はできません。万が一、やむを得ない事情により不都合な時間帯がある場合には、神学部・神学研究科事務室 (1 階) までご相談ください。

申込締切: 7 月 9 日 (木) 17 時 【厳守】

2. 中間報告書(全員必須)・パワーポイント(希望者のみ)の提出について

A 4 判 (横書き) の PDF ファイルを提出 … 中間報告の要旨を 1 ページ (1,000 字程度) にまとめること。

*冒頭に発表題、コース、学生 ID、氏名を明記。

パワーポイントのデータを提出 … ファイル容量は 20MB 以内で提出すること。

▼下記メール件名およびファイル名にて神学部・神学研究科事務室宛にメールで提出

◆送信先メールアドレス: ji-sinjm@mail.doshisha.ac.jp

・メール件名 「修士論文中間報告提出物(全角ｽﾍﾟｰｽ)学生 ID(全角ｽﾍﾟｰｽ)氏名」

・ファイル名 「修士論文中間報告書(全角ｽﾍﾟｰｽ)学生 ID(全角ｽﾍﾟｰｽ)氏名.pdf」

「修士論文中間報告発表データ(全角ｽﾍﾟｰｽ) 学生 ID(全角ｽﾍﾟｰｽ)氏名.pptx」

★なお、中間報告書 (要旨) については、前期課程の院生全員へ公開予定です。

提出締切: 9 月 17 日 (木) 17 時 【厳守】

提出先: 神学部・神学研究科事務室へメールにてデータ提出